

論文審査の要旨  
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (学術)	氏名 Author	VU HA THU
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論文題目 Title of Dissertation Rural Households' Behaviors towards Sustainable Rural Development in Vietnam			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member			
主 査 Committee Chair	広島大学大学院国際協力研究科	准教授 後藤大策	印 Seal
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	教授 金子慎治	
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	教授 関 恒樹	
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	教授 吉田雄一朗	
審査委員 Committee	東京大学社会科学研究所	准教授 川田恵介	
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本研究は、ベトナムにおける農村開発に関する政策に注目し、それを統計的因果推論に基礎づけられた評価手法によって、その農村開発政策の効果を厳密に分析することで、エビデンスに基づいた持続可能な農村開発政策の立案・実施に寄与しようとするものである。具体的には、(1)農地使用权の期間延長が農地の持続可能性を高める農家の投資行動にどのような影響をもたらすか、(2)茶生産農家に有機肥料を導入させるための政策として安価な情報提供政策は補助金政策を代替できるのか、(3)マイクロファイナンスは少数民族農村家計の厚生を向上できるのか、という3つの問題に対して、因果推論に基づいた回答を得ることをテーマとした農村開発研究であり、独自性、有用性を持つ。</p> <p>論文は全5章で構成されている。第1章では研究の学術的背景と動機を説明し、既存レビューを踏まえた研究目的を設定した。第2章では、パネルデータを用いた差の差分析を行い、農地使用权の期間延長に関する正確な理解は、長期的に農家の生産を向上させる投資を上昇させることを示した。第3章では独自のフィールド経済実験によって、茶生産農家に対する有機肥料の情報提供政策は、補助金政策と代替可能であることを明らかにした。第4章では、独自の農村家計調査データに傾向スコアを用いたマッチング分析手法を適用し、少数民族農村家計のマイクロファイナンスプログラムへの加入は、その教育支出を高めることを明らかにした。第5章で全体の分析結果から得られた知見をまとめ、エビデンスに基づいた持続可能な農村開発のあり方を提示している。</p> <p>なおこれまでに本論文に関連して国際誌で学術論文1編が出版されている。以上、審査の結果、本論文の著書は博士(学術)を授与されるに十分な資格があるものと認められる。</p>			
<ul style="list-style-type: none"><li>● Vu H T, Goto D. Does Microfinance Improve the Household Welfare of Ethnic Minorities? Evidence from Bac Kan Province, Vietnam. Progress in Development Studies, 20(1) 65-83. 2020 (SSCI, Impact factor in 2019: 1.125).</li></ul>			